

開催要項

1. 開催趣旨

津波の脅威と対策への国際的な意識向上を目的に、日本が提唱し日本を含む世界142カ国が共同提案を行った、11月5日を国連の共通国際デーとして「世界津波の日」とすることについて、2015年12月、国連総会において全会一致で採択されました。

日本では、すでに11月5日を「津波防災の日」として定めています。

これは、1854年旧暦11月5日に起きた安政南海地震の際、和歌山県広川町の庄屋だった浜口梧陵（はまぐち ごりょう）が、稲むらに火をつけ、村人を高台に導いて大津波から命を救った逸話「稲むらの火」に由来しています。

このたび、「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「世界津波の日」高校生サミットを、高知県黒潮町において開催します。

高知県黒潮町は、南海トラフ地震による国の被害想定において、津波高34メートルという国内一の想定を受けた町です。その想定後黒潮町では、地震津波で一人の犠牲者も出さないことを理念に、防災インフラ整備、防災教育、防災産業の創出など、様々な取り組みを進めています。

地震津波は多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらす各国共通の課題です。

今回の高校生サミットは、防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる、国土強靱化を担う将来のリーダーを育成することを目的に開催します。

2. 全体テーマ

「自然災害から生きぬくために、次世代を担う私たちができること～自助・共助・公助の視点から～」

3. 分科会（ワークショップ）の分野

- ①自然災害を知る（「津波」から命を守るために身につけておくべきこと、自分の住む地域の災害リスク、災害教訓の伝承、「世界津波の日」の普及等）
- ②自然災害へ備え（減災のために学校や地域・家庭でできる取組の提案等）
- ③自然災害からの復興（持続可能なボランティア活動の取組など、学生が果たす役割）

4. 参加者

- ・海外招聘者 284名（高校生246名 引率38名/参加国29カ国）
 - ・国内参加者 164名（高校生115名 引率49名/参加校38校）
- （計448名：高校生361名 引率87名）

5. 開催日

2016年11月25日（金）～26日（土）

6. 会場

土佐西南大規模公園 体育館他
住所：高知県幡多郡黒潮町入野388

7. 主催／共催／後援

主催：高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会

共催：国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所

後援：国土強靱化推進本部、内閣府（防災担当）、外務省、文部科学省、経済協力開発機構（OECD）

サミット日程

11月 25日(金)	16:30	開会式
26日(土)	8:05	分科会・フィールドワーク
	13:40	記念植樹&全体記念撮影
	15:00	総会
	18:40	フェアウェルパーティー

日程

○ 11月25日(金)

【開会式】		(体育館アリーナ)
16:20 ~ 16:30	オープニング	
16:30 ~ 16:35	開会宣言 (高校生議長)	
16:35 ~ 16:45	主催者挨拶 (黒潮町長)	
16:45 ~ 17:00	プログラム説明	
17:00 ~ 17:30	O E C D東北スクール発表	
17:30 ~ 17:50	分科会のためのブリーフィング① (自己紹介)	
17:50 ~ 18:15	分科会のためのブリーフィング② (進行の方法確認)	

○ 11月26日(土)

【分科会 (フィールドワーク含む)】		(大方あかつき館・体育館・コウジン山避難場所)	
Aグループ		Bグループ	
8:20 ~ 10:20	分科会	8:05 ~ 8:35	津波避難タワー、安政津波の碑 見学
		9:15 ~ 10:05	フィールドワーク 高台避難訓練
10:35 ~ 11:25	フィールドワーク 高台避難訓練	10:25 ~ 12:25	分科会
12:00 ~ 12:30	津波避難タワー、安政津波の碑 見学		
12:40 ~ 13:10	昼食	12:25 ~ 13:10	昼食
12:35 ~ 13:35	宣言文検討部会 (議長と分科会代表)		

【記念植樹】

13:40 ~ 14:10	記念植樹・全体記念撮影	(大方あかつき館)
---------------	-------------	-----------

【総会】

【総会】		(体育館アリーナ)
15:00 ~ 15:05	総会開会宣言 (高校生議長)	
15:05 ~ 15:25	主催者挨拶 (高知県知事)・来賓挨拶	
15:27 ~ 15:52	東日本大震災被災地からの報告	
16:05 ~ 17:05	分科会報告	
17:05 ~ 17:10	宣言採択	
17:10 ~ 17:20	閉会宣言 (高校生議長)	

【フェアウェルパーティー】

18:40 ~ 20:10	フェアウェルパーティー	(新ロイヤルホテル四万十)
---------------	-------------	---------------

黒潮宣言

国連総会において「世界津波の日」が制定されたことを記念し、私たちは、世界30ヶ国から、2016年11月25・26両日、南海トラフ地震による甚大な津波被害が想定される高知県黒潮町に集まりました。

世界各地で自然災害が大きな被害を及ぼし、多くの人々が復興に立ち向かっています。

私たちの住む国や地域は多様であり、発生する自然災害や、防災に対する取組も様々ですが、すべての人々の命を守りたいという願いは同じです。

今日、世界の友と、災害から人々の命を守るために、そして被災地の復興のために、私たちは何をすべきか、また、どのような取組ができるのかを学び合いました。

このサミットを通じて、世界での津波リスクと津波による甚大な影響を認識し、先人たちの防災・減災の志を後世に伝える責務を引き継ぎ、津波災害をはじめとする災害から一人でも多くの尊い命を守るため、できる限りの努力をする決意をここに宣言します。

1 私たちは学びます。

- 自然災害への理解を深めるため、それらの仕組みや被害、過去の歴史を正しく学びます。
- 人々の命を守るため、防災に役立つ知識や技術・取組を学び、研究します。
- 被災した方々から、私たちはどのように災害に立ち向かい、どのように生きるべきなのかを学びます。
- テクノロジーを駆使して学びます。

2 私たちは行動します。

- 自然災害の記憶の風化を防ぎ、防災意識向上のための啓発活動を絶やさず行います。
- 助けられる人から助ける人となる自覚を持ち、人々の心に寄り添うボランティア活動を積極的に行います。
- 防災への取組を地域社会と行政に提案するなど、地域社会の一員として地域づくりに参画します。

3 私たちは創ります。

- 学び得た知識や技術、若者らしい斬新な発想をもって、あらゆる人の防災に役立つ物や仕組みを創造します。
- 世界の友と生きるため、地域や国を越え、共に学び、協力しあう高校生間のネットワークを創出します。
- 次代を担う防災リーダーとして知恵と行動力を発揮し、私たちと未来の子ども達のために、地域の活性化はもとより、災害に強い街や国づくりに貢献します。

そして、自然の恵みを享受し、時に災害をもたらす自然の二面性を理解しながら、その脅威に臆することなく、自然を愛し、自然と共に生きていきます。

2016年11月26日

「世界津波の日」 高校生サミットin黒潮

記録写真 分科会



記録写真 総会

